

1000七利得
参考

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

29年6月30日

都道府県知事
(市長) 殿

提出者
住所 大分県日田市殿所2935-8
氏名 黒木 敏之
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	黒木牧場
事業場の所在地	日田市殿所2935-8
計画期間	平成29年4月1日～30年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	01 農業
②事業の規模	乳用牛育成 100頭
③従業員数	3人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	動物のふん尿 — 自家堆肥化処理 動物の死体 — 化成場へ委託



(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

場長 (廃棄物統括責任者)
廃棄物処理方針の決定
廃棄物処理に関する各種事項の決定承認

技術取組 処理計画の作成
販買計画の作成 (中山間地区の作業計画作成)

事務

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (28 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	動物ふん尿	
	排出量	667.5 t	0 t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	排出量	890 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物ふん尿	動物の死体
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	667.5 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	890 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
なし		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	
なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(これまでに実施した取組)	
動物の死体は全量化成場に委託処理する		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の死体	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 化成場に委託処理		
※事務処理欄			